

高齢者のための交流会などを開催しているボランティア友の会「ひまわり」のメンバー＝徳島市の県労働福祉会館別館



ボランティア友の会「ひまわり」

# なかよし サークル

徳島市

## 交流で高齢者を笑顔に

徳島市昭和町の県労働福祉会館別館で月1回、100人以上の高齢者が集まって昭和の歌謡曲を大きな声で合唱している。毎月第3土曜に開かれる「うたごえ広場」の風景。主催しているのが、ボランティア友の会「ひまわり」だ。

前田すづ子会長(68)「藍住町矢上」を中心に、介護ヘルパー講習の受講者仲間や「人を楽しませたい」と声を掛け合い、1998年に発足。現在は50～80代の約40人が毎月1回の「うたごえ広場」や高齢者らがおしゃべりや講習会を楽しむ「シニアカフェ」などを開く。その合間を縫って県内各地の高齢者施設などを訪れ、歌やダンスなどメンバーのおおのが得意な出し物を披露し、楽しませている。

最も人気のある「うたごえ広場」は2009年4月に始まり、メンバーが会場を設営し、ギターやピアノで伴奏をする。歌うのは誰もがよく知る童謡のほか、40～50年前のヒット曲が中心。1回で20曲程度を歌い、参加者でマイクを回しながら合唱を楽しむ。最初は20人ほどだった参加者は口コミで広がり、今では100人を超えるまでになった。毎月、介護タクシーに乗って来る人もおり、前田さんは「楽しかった」「また来るけんな」と言ってもらえるのが何よりもうれしい」と話す。

「参加する皆さんの顔を見て交流できることが楽しみになっている」と話すのは、結成時から活動する井上みち代さん(70)「徳島市国府町。会場設営のほか、高齢者対象に介護予防体操も教えている。メンバーは「みんなが元気なうちにはできる限り続けて、多くの人を笑顔にしたい」と声をそろえ、意欲を新たにしている。(三浦麻衣)